



早期高糖で耐倒伏性、脱葉性に優れた

農林10号 NiTn10 (旧系統名RF84-106)

【栽培適地】沖縄県全域

農林10号(NiTn10)は、1996年(平成8年)に命名登録、同年、沖縄県の奨励品種に採用されました。早期高糖性で、耐倒伏性、脱葉性に優れた品種です。



左:剥葉前の茎
右:剥葉し、日光にさらされた茎



芽子



立毛状態

来歴組合せ ♀F177 × ♂NiF4

NiTn10は、台湾糖業研究所においてF177を母本、NiF4を父本として交配した交雑種子から実生を養成し、以後、特に早期高糖性、耐倒伏性に注目して選抜を重ねて育成した品種です。

重要特性

- ・茎揃いが良く、耐倒伏性で、脱葉性に優れるため、機械収穫に適する。
- ・春植、夏植の収量はNCo310と比較して安定して多く、株出しではやや少ない。
- ・糖度はNCo310より安定して高く、可製糖量は多い。

■育成地(沖縄県南部)における春植えの特性

	原料茎数(本/a)	茎長(cm)	茎径(cm)	一茎重(g)	原料茎重(kg/a)	甘蔗糖度(%)	可製糖量(kg/a)
NiTn10	943 [98]	161 [100]	2.3 [105]	735 [109]	622 [104]	13.7 [101]	79 [104]
NCo310	962	161	2.2	674	598	13.6	76

※[]内はNCo310を100とした場合の比率。

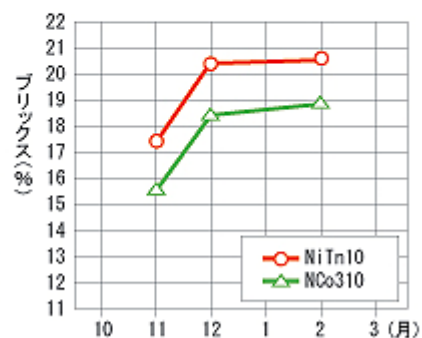
■病害抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病	白糸病
NiTn10	弱	強	強	弱
NCo310	弱	弱	中	強

■その他、主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	出穂性	風折抵抗性	脱葉性
NiTn10	良	少	中	少	強	易
NCo310	中	中	良	多	強	難

■NiTn10のブリックスの上昇 (育成地における春植え)



※ブリックスはNCo310よりも高く、早期から上昇。

栽培上の注意

- 茎の伸長はやや緩慢であり、耐干性がやや弱い傾向があるので、干ばつが生じやすい珊瑚石灰土壌での栽培は控え、肥沃地で栽培しましょう。
- 白条病抵抗性は弱です。採苗時は罹病株からの採苗を避けましょう。



NiTn10の形態的特性

葉長はNCo310と同程度。茎はNCo310よりも太く長い。

■葉身・葉鞘関連形質

	草型	葉身長	葉幅	葉色	葉鞘長	葉耳	毛群	ろう物質	花青素(葉鞘)
NiTn10	直立葉	中	広	中	中	上昇下降	無	中	無
NCo 310	中葉	中	中	中	中	上昇下降	無	中	無

■茎関連形質

	莖葉の形態	莖色		葉長	葉径	亀裂	ろう物質	芽子の形	芽翼	突芽子出度	芽溝
		基本色	複合色								
NiTn10	糸巻	黄緑	褐	やや短	中	無	多	円	狭	やや凸	無
NCo 310	円筒	黄緑	褐	中	細	小	多	円	やや広	やや凸	無



- 立茎で脱葉は容易です。
- やや葉が広く直立しています。
- 茎は糸巻で芽子は円形です。